



東北大学

東北大学大学院医学系研究科 障害科学専攻 グラウンドシンポジウム

2011.3.14 Mon

シンポジウム: 15:00-19:00・懇親会: 19:00-20:00

開催場所: 良陵会館大ホール (懇親会: 1F ラウンジ)

東北大学大学院医学系研究科障害科学専攻は人生の各ステージで発生する障害を disease の立場ではなく disability としてとらえ、その予防や克服を目指す研究と教育を国内唯一の専攻として実践し、数多くの卒業生を輩出してきました。

障害科学専攻も設立17年をすぎた今、これまでにスポットが十分に当たっていなかった障害をターゲットに新しいスタッフを迎えました。

障害科学専攻のリニューアルを機会に記念シンポジウムを開催し、障害科学専攻の新たな方向性を披露します。

プログラム

1 挨拶

医学系研究科長 山本 雅之
障害科学専攻長 上月 正博

2 祝辞

3 シンポジウム

第1部 障害科学専攻新分野の紹介

音楽音響医学分野 「音楽音響医学、事始め」
融合医工学分野 「小児麻痺の根絶をめざして」
融合医工学分野 「視覚機能再建に向けて」
てんかん学分野 「てんかん障害克服による国家的利益」

市江 雅芳
木村 芳孝
富田 浩史
中里 信和

休憩

第2部 障害科学専攻の17年

高次機能障害学分野 「大脳の疾患と障害: 脳科学から脳医療へ」
内部障害学分野 「内科疾患におけるリハビリテーションの役割」
肢体不自由学分野 「肢体不自由学教育・研究の現状と展望」
行動医学分野 「新展開するストレスと行動の医学」
運動学分野 「体力・運動能力と障害予防」

森 悦朗
上月 正博
出江 紳一
福土 審
永富 良一

総括 「超高齢社会における障害科学専攻の将来展望」

上月 正博